

令和6(2024)年11月19日

保護者の皆様

札幌市立札幌北中学校
校長 美田 学秀

令和6年度 全国学力・学習状況調査の結果(お知らせ)

初冬の候、保護者の皆様におかれましては、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。また、日頃より本校の教育活動に対しまして、温かい御理解と御協力を賜り、心からお礼申し上げます。

さて、4月(国語・数学)に3学年で実施された全国学力・学習状況調査について、結果を全国の平均と比較するなどして分析した「本校の概要」がまとまりましたのでお知らせいたします。御参考にしていただければ幸いです。

1 学力調査の結果と課題や改善の方向

【国語】 ※「上回っている」とは、全国平均に比べ +3.1ポイント以上
「ほぼ同程度」とは、全国平均に比べ ±3ポイントの範囲内
「下回っている」とは、全国平均に比べ -3.1ポイント以下

(1) 本校の概要

		国語:指導要領の内容
知識及び技能	言葉の特徴や使い方に関する事項	全国平均に比べ、下回っている
	情報の扱い方に関する事項	全国平均に比べ、下回っている
	我が国の言語文化に関する事項	全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている
"思考力、判断力、表現力等"	話すこと・聞くこと	全国平均に比べ、下回っている
	書くこと	全国平均に比べ、下回っている
	読むこと	全国平均に比べ、下回っている

(2) 今回の調査結果による課題

- 表現の効果を考えて描写するなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができるかどうかをみる
- 文章の全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係を捉えることができるかどうかをみる
- 文の成分の順序や照応について理解しているかどうかをみる
- 目的に応じて必要な情報に着目して要約することができるかどうかをみる
- 具体と抽象など情報と情報との関係について理解しているかどうかをみる
- 資料を用いて、自分の考えが分かりやすく伝わるように話すことができるかどうかをみる

(3)改善のポイント

- 自分の書いた文章が、目的や意図に応じた表現になっているか、相手に伝わるような文章として整っているかなど、各種作文・原稿の推敲や各単元の振り返りの取組などの学習活動の強化
- 定期的に行っている漢字小テストの継続と、文学的・説明的文章等を問わず、文脈や場面をしっかりとつかんだ上での漢字の書き取りをめざし、日常の漢字練習や単元ごとの振り返りなどで自身の作成する文章を精査する学習活動の工夫
- 文章における具体と抽象の関係性をとらえる学習や、小説を批判的に読むなど、観点を絞って行うことを充実させるなど、文章の比較や表現の効果を考える力を養うための学習活動の工夫

【数 学】

(1) 本校の概要

	数学:指導要領の領域
数と式	全国平均に比べ、下回っている
図形	全国平均に比べ、下回っている
関数	全国平均に比べ、下回っている
データの活用	全国平均に比べ、下回っている

(2)今回の調査結果による課題

- 等式を目的に応じて変形することができるかどうかをみる
- 与えられたデータから最頻値を求めることができるかどうかをみる
- 複数の集団のデータの分布の傾向を比較して読み取り、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができるかどうかをみる
- 複数の集団のデータの分布から、四分位範囲を比較することができるかどうかをみる
- 統合的・発展的に考え、成り立つ事柄を見だし、数学的な表現を用いて説明することができるかどうかをみる

(3)改善のポイント

- 示されている文字について解くには、等式の性質をどのように使えばよいかを考えるよう促し、見通しをもって式を操作できるような活動を充実させる
- 小学校での学習を振り返り、関連させながら、代表値の意味や求め方を理解することができるような指導を充実させる
- 必要に応じて、四分位範囲や代表値、箱ひげ図やヒストグラムを合わせて考察できるような指導、そしてそう考察した理由を数学的な表現を用いて説明することができるような活動を充実させる
- 四分位数や四分位範囲の必要性和その意味を理解することができるような指導を充実させる
- 既習の問題の条件を変更したり、他に分かることはないかを考えたり、共通する性質を見いだしたり、概念を一般化したりしつつ、具体的な数で確かめて成り立つ事柄を見いだすような活動とその予想が正しいということを数学的な表現を用いて説明することができるような活動を充実させる

2 学習状況調査(生徒質問紙、解答時間終了後の質問事項)の結果

※生徒の日常の生活や学習状況を調査した結果の中で、特徴的な事項をお知らせいたします。

(1)肯定的な回答が全国平均を上回っている事項

質問事項	本校	全国
数学の勉強は好きですか	64.1%	57.2%
解答時間は十分でしたか(数学)	79.7%	73.6%
友達関係に満足していますか	93.6%	90.1%
普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか	93.3%	89.8%
学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか	83.5%	80.6%

良好な友人関係が成立しており、自己有用感を感じられていることがうかがえる。また、普段の生活の中でも幸せな気持ちになることが多いという回答から、本校の生徒は学校外でも家庭や地域の方から暖かく見守られて育っていると考えられる。

(2)肯定的な回答が全国平均を下回っている事項

質問事項	本校	全国
1、2年生のときに受けた授業では、スピーチやプレゼンテーションなど、まとまった内容を英語で発表する活動が行われていたと思いますか	42.3%	82.4%
1、2年生のときに受けた授業では、自分の考えや気持ちなどを英語で書く活動が行われていたと思いますか	63.1%	85.7%
1、2年生のときに受けた授業では、原稿などの準備をすることなく、(即興で)自分の考えや気持ちなどを英語で伝え合う活動が行われていたと思いますか	54.7%	68.8%
国語の勉強は好きですか	51.7%	64.3%
理科の勉強は好きですか	57.7%	68.3%

英語の活動に関する質問が多かったため、英語に関する肯定的回答が少ないように見えてしまっているが、「自分の考えをまとめる」「話し合う」といった類似の質問に対する肯定的回答が、全国に比べ総じて少ない。どの教科でも話し合い活動を試みているが積極的に参加できる生徒が少なく、盛り上がり欠ける授業になりがちで、生徒の印象に残りにくいことも原因として考えられる。国語と理科についても「好きですか」という質問があり、肯定的回答が少なかつたため目立っているが、数学も含めて「考える」ことを問う質問に対する肯定的回答が総じて少なく、思考力を問う学習を得意としない傾向が強い。

平日にスマホ等でゲームをしたりSNSを利用する時間が3時間を超える生徒が全国よりそれぞれ20%ほど多いことは、本校の大きな特徴である。

また、平日の学習時間が、塾等での学習も含めて2時間以上という回答が全国より5.5%少なく、土日などの学校が休みの日の学習時間が1時間以上と回答した生徒は本校では半数に満たず、全国より14.3%少ないことから、学習習慣の定着に課題があることが分かる。